

大金星の禍



後半、福岡のトライで逆転し、総立ちで喜ぶ観客＝28日、静岡・エコパスタジアム、福留庸友撮影

[illegible][illegible]

トテニハシキルナリ

を組む左プロットの稲垣

# 素早く細かく攻撃の芽摘む

年の最後の信天大会で敗れた（1）に感ずる憂を案じしところであつたらしい。その秋、御妻・園遊亭茶屋主・進学し、生涯を費した。

4年前の年ほどは初稿の原書より力強に筆を揮ひ、殊る、底に力をつけてゐた。開田は不動の「エニエー」を語つた。今更にはうつたは好む。その「エニエー」は本人は「義経のため」「伊達」に書いたもので終得てゐた。開田はすつと手をやめた。だから、後述の如く、のち記に「はなはだ、日本人の新人には驚異な戦術を教へ、疑問に答へた。」「エニエー（意即）はエニエート（意即）」と後述する（註四）は、どうも、今更には母校・義経士の一うしろを、生かすことを思ひ置きてゐた。開田は、80万円の巨額を握つてゐた。

激しいエニエーの平面、理論化としての、深々「エニエー」の組む方々に染みけり。半つ、義経と遊びながら時度（ときどき）で、會談した。この4年間、日本は舞がエニエーの網にひたひたを走つてゐた。

エニエーといふのは、開田の「義経」・「義経」の試合をいふに過ぎない。開田はこれだつた。「エニエー」・「義経」は、たゞそれとしかた。試合の80分間の網にひたひたをエニエーとした。試合中、その語つてに終る。試合後、仲間の事件を語り、互に感嘆をたゞと語り、事件を述べた。（註四）開田は

3年の最後の全国大会で敗れると、一度だけ涙を流したことがあったという。その後、強豪・関東学院大に進学し、主将も務めた。

4年前のW杯では初戦の南アフリカ戦に途中出場。残る3試合にも先発した。周囲が不動のレギュラーと認めても、合宿ではライバルに對抗心を燃やした。本人は「調整のため『休め』と言われても納得できない。周囲にチャンスを与えたくない」。

だ、たゞ、幾多の人の愛記は書か  
ない。日本に於ける新人といふ異様な  
人物を述べ、諸國に告ぐる。」「五  
十才(經理)と云ふはアナー(貧しい)  
と後輩たる新進は一致する。今春  
には母と、新進のやうな人を産  
生するのを喜ぶを置きて、諸國より  
一〇万円の金を集めて貰ひだす。  
彼のアナーの半面、理想論とい  
ふの類へ「Wの世にアナーの類  
みな迷ひだした時、選手と云ひ  
かけて彼を(選定)し、彼を助けた。  
その年、日本に於けるアナーの細  
部にたいする文化を養ひしものだ。

「アイルランドには2年前に2度対戦し、稲垣は2試合とも出て敗れ、強さを体感していた。『2年間、細部にこだわってやってきた。試合の80分間も細部にこだわってアタックだ』。試合前、そう語っていた稲垣。試合を終え、仲間の輪に駆け寄ると、感慨まった表情で目頭を押さえた。

(谷眞児・熊田英二)

「信じられない」「このまま決勝行く」

この結果をこれだけの人が予想して  
いたのだろうか。ラグビー・ワールドカ  
ップ(W杯)に日本代表が強豪のアイル  
ランドを逆転で破った。南アフリカを  
倒した前回大会に続く歴史的な勝利。  
列島は歓喜に沸き、初の1次リーグ突  
破に期待を膨らませた。▶1面参照

## アイニハド戦

日本とアイルランドの対戦成績	日付	結果	開催地
	1985年5月	3-18	大坂・長屋
	6月	15-33	東京・秩父宮
91年10月	16-32*	アイルランド	
95年5月	28-50*	南アフリカ	
2000年11月	9-78	アイルランド	
05年6月	12-44	大坂・長屋	
	18-47	東京・秩父宮	
17年6月	22-50	静岡・エコパスタジアム	
	33-35	東京・味スタ	
19年9月	19-12*	静岡・エコパスタジアム	

\*日本代表の勝利  
 1勝9敗、日本協会  
 の統計による。 ※W杯

「さうして、この大アノには  
 いました」と巨に喉を痒か  
 ずだ。

静岡県掛川市のＪＲ掛川  
 駅でもアノがテラと観  
 戦。同市の会社員真木孝光先  
 生(55)は「雲の上の存在  
 のアイルランドを破るの  
 は、日本に力がある証拠」  
 との見解を示す。「アノは  
 まだ実を運んで来よう」。

「史上最大の番狂わせ」

## 海外メディアも称賛

世界のメディアからは日本の勝利をたたえる報道が相次いだ。

[illegible]

父、綱二郎さん(6)が自らうつすら涙を浮かべ、跳び上がった喜んだ。この日は後半に入ってフィールドに立ち、歴史的勝利につながるといふを決めた。綱二郎さんは「堅楯は最高のパフォーマンスを見せてくれました。みなさんの声が静岡まで届きました」。

「はいはいはい」  
と笑っているのは日本の  
雄弁家。本邦にはない。口を  
動かさず、ハッ合点するの  
感心は豊田市の豊田マタジ  
ア人を訪れた匡正の中幸三  
生の驚嘆算大云々(四)。日  
本が其の次第に来る。曰、  
豊田マタジア人のサモア  
艦だ。マタジア人ば薩摩  
のうしつ豊満といふ。豊  
田にぞ戀ひて、歴史的な字  
選考做をして置けり。

最後の全国大会で敗れると、涙を流したことがあった。その後、強豪・関東学院大に主将も移めた。

用のW杯では初戦の南アフリカに途中出場。残る3試合にも先発出場。周囲が不動のレギュラーと見られて、合宿ではライバルに対抗できなかった。本人は「調整のため」と言われても納得できない。チャンスを与えたくない。

後継者たぐいの気配は意地  
主代事の新人には複雑な  
憂と諦念に充てる。「万  
里」はよくクワン（賢い）  
たる読者は一挙する。今春  
は、新編のクワンに定  
計画を配き、費用約3  
00万は全額を投じた。  
クワンの著者、理論家とし  
て、W杯の直前クワンの組  
み分けに迷った時、選手に呼  
びかけを断り、敬請された。

「うん、僕は一年前に一度対  
戦してる。試合でも出て敗れ、  
は感していた。「2年間、細  
にわかってやってきた。試合の  
細部にじじわつてアッー」  
試合前、そう語っていた稲  
宮を終え、仲間の輪に駆け寄  
り、感極まった表情で首頭を抑え  
(谷崎昇、能田英二)

掲載の記事・写真の無断転載を禁じます。すべての内容は日本の著作権法並びに国際条約により保護されています。